広報家畜衛生

令和8年11月10日発行

〇徳島家畜保健衛生所
〒770-0045 徳島市南庄町5丁目94
TEL 088-631-8950 FAX 088-631-8938
〇阿南支所
〒774-0013 阿南市日開野町谷田483-3
TEL 0884-22-0304 FAX 0884-22-2225

家畜保健衛生所ホームページURL
https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/sangyo/chikusangyo/2014022000090/

国内で約２年ぶりに ランピースキン病 が発生！

【ランピースキン病】

ウイルスによって引き起こされる牛や水牛の病気で、皮膚の結節、発熱、泌乳量の低下 等が発症します。

国内では令和6年11月に福岡県で初めて発生して以降、計22例、累計230頭の発症牛が確認されていました。



写真　本病を疑う症状

＜令和8年の発生情報＞

令和8年11月1日　福岡県・みやま市
乳用牛　93頭飼養　異常1頭

令和8年11月5日　鹿児島県・日置市
肉用牛　35頭飼養　異常1頭

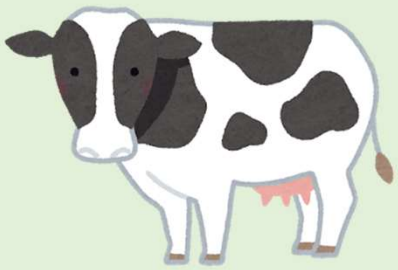
令和8年11月6日　長崎県・対馬市
肉用牛　14頭飼養　異常4頭

令和8年の発生場所



<u>発生予防・まん延防止</u>のため、次の対策を実施してください。





1　日常的な健康観察
- 皮膚の結節
- 発熱
- 泌乳量の低下　等



2　早期通報



3　媒介昆虫対策
- 殺虫剤の散布
- 粘着シートの設置　等



4　注射針等の交換・消毒

異状の早期発見、早期通報に留意してください。

何らかの異状が確認された場合は、直ちに最寄り家畜保健衛生所にご連絡ください。

＜連絡先＞徳島家畜保健衛生所

◯徳島本所　　088-631-8950

◯阿南支所　　0884-22-0304

家畜保健衛生所は、休日･夜間も24時間対応しています。

ランピースキン病

MAFF
農林水産省

Point

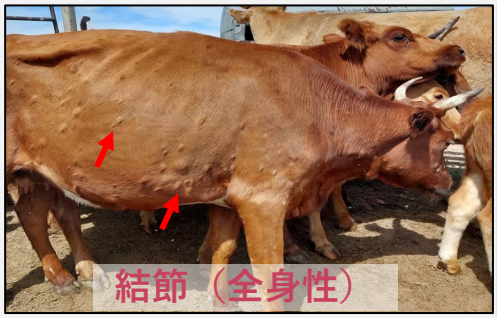
国内で、2024年11月6日に発生が確認されました

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大

疑わしい場合は
直ちに連絡！









写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
（State Central Veterinary Laboratory in Mongolia）

ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

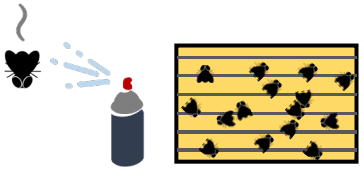
早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、出荷、移動時は健康観察を徹底。





02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

ランピースキン病の感染拡大防止！
車両や人による
農場から農場への伝播を防止しましょう

ランピースキン病は、主にサシバエ等による機械的伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります。

車両がウイルスを運ばないために

農場の自家用車、集乳車、飼料運搬車、獣医師、人工授精師、薬品・資材業者、家畜運搬業者、関係団体など農場に出入りする全ての車両

- 農場に出入りする**全ての車両**は**洗浄・消毒、殺虫**を徹底！
- **車内に入り込んだ**サシバエ等も、確実に殺虫！

（特に寒い時期、サシバエ等は温かい車両に集まりやすく、車内にも侵入します。）

車体に集まったハエ



（資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバエ等が入り込む可能性があるので、搬入時確認！）

人がウイルスを運ばないために

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接触れる者

- 農場ごとに**専用の衣服、長靴（ブーツカバー）交換**の徹底！
- **注射針、人工授精用器具等**は確実に一頭ごとに交換又は消毒！
- **聴診器**等、**皮膚に接触する器具**も適切に消毒！

農場から農場への感染拡大防止！



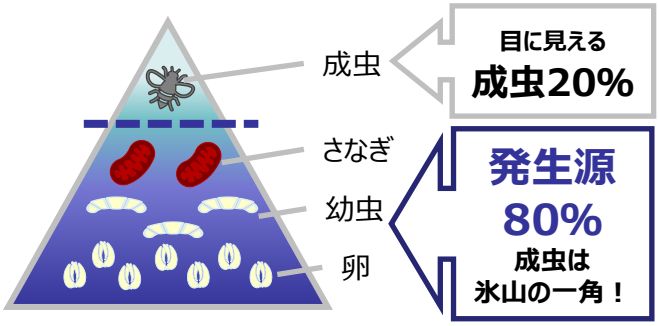
農林水産省

農林水産省
九州農政局

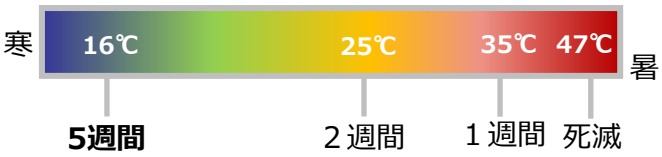
春先に向けたサシバエ対策で牛を病気・ストレスから守りましょう！

はて？冬季のサシバエ対策？春・秋よりサシバエ見ないけど・・・

成虫がいる＝幼虫はもっと潜んでいる



温度とサシバエが卵から成虫になるまでの発育日数の関係

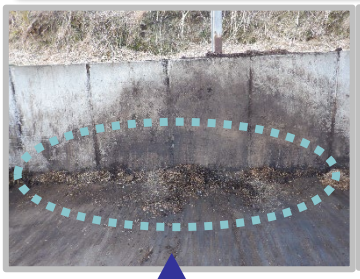


冬季は気温が低いので、発育速度が遅い！
幼虫対策をすれば、殺虫剤を撒く回数も減少！

九州の冬季サシバエ対策は、寒いうちから！

スタートが遅れると、ハエの数は爆発的に増加します・・・

1．幼虫対策は、堆肥等の管理とIGR剤の散布！



堆肥の切り返しは
隅々まで！



牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
カーフペンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！





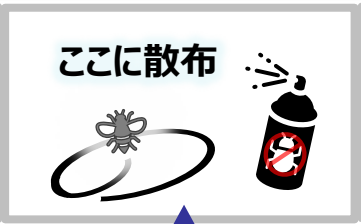
つなぎ牛舎は
バーンクリーナーへ散布！

2．成虫対策は、防虫ネットや殺虫剤ローテーションで！

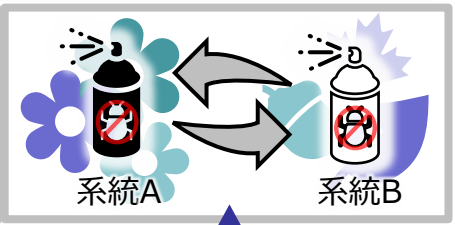




地面や床から２ｍは防虫ネットで
覆えるようにしましょう！
隙間や穴がないか確認を！



殺虫剤は
サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！



殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！

3．対策は地域ぐるみで！関係業者もご一緒に！

写真協力：鹿児島県内酪農家、（独）家畜改良センター宮崎牧場、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、エランコジャパン株式会社

裏面もチェック

サシバエ対策、ここをチェック！

農林水産省
九州農政局

1 堆肥・敷料・残餌はしっかり管理できている！

・切り返し等により堆肥発酵時の中心温度が65度になることを確認
・牛床は清潔に保たれ、汚れた敷料や残餌は片付いている

はい → すばらしい！

いいえ

IGR剤を撒き、幼虫対策をしている！

・バーンスクレーパーが通る前にバーンクリーナーに散布
・牛の踏まない所を中心に散布（特に牛舎隅など）

はい → その調子！

いいえ

サシバエ幼虫は、堆肥等の管理＋IGR剤で限りなく減らそう

サシバエの成虫１匹は、生涯600個もの卵を産む。**冬の成虫１匹は来シーズンの１万匹に相当すると言われるほど、冬季対策が重要**。サシバエの活動が低下している冬季だからこそ、地域ぐるみで幼虫対策をしましょう！



子孫残セナイ…

2 牛舎内で八エ成虫をほぼ見ない

はい → みんなのお手本！

いいえ

サシバエ成虫を、牛舎内で見かけたら、対策徹底！

サシバエは農場内でも発生するし、他所からも飛んだり運ばれたりしてやってくる。地域ぐるみでの対策が重要。サシバエの持ち出しや持ち込みがないよう農場出入り業者にも**車内の殺虫を**お願いしましょう。



ココニハ 住メナイ〜

サシバエ成虫対策 ３つのポイント

1．殺虫剤は ローテーション

同じ殺虫剤を連用していると、生き延びたサシバエが耐性を持つことがある。
殺虫剤が効きにくくなる前に、**系統が異なる殺虫剤とローテーションで回していこう**。
十分な濃度・噴霧量で散布しているかも要チェック。

2．防虫ネットの設置

地面から2mの高さまで床から天井に向けて設置。**穴が開いてないか**定期的にチェック。

3．下草刈りや防草シートの設置

サシバエが日中休息する**牛舎周辺の下草を刈ろう**。**防草シート設置も効果的**。